

小金井市長期計画審議会（第2回）

日 時 令和元年7月12日（金）午後6時30分～午後8時32分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 13人

会 長	渡 邊 嘉二郎	委員			
職務代理者	竹之内 一 幸	委員			
委 員	上 原 和	委員	中 村 彰 宏	委員	
	森 文 香	委員	高 野 博 美	委員	
	柳 沢 昂	委員	柴 田 彩千子	委員	
	石 塚 勝 敏	委員	杉 中 清 良	委員	
	吉 田 晶 子	委員	浅 野 智 彦	委員	
	松 嶋 あおい	委員			

欠席委員 3人

委 員	南 恵 子	委員	後 藤 広 治	委員	
	住 野 英 進	委員			

---

事務局	企画財政部長	天 野 建 司
	企画政策課長	梅 原 啓太郎
	企画政策係長	古 賀 誠
	企画政策係主査	東 條 俊 介
	企画政策係主任	金 原 真紀子
	企画政策係主事	鎌 田 莉 央
	株式会社創建	左 近 靖 博
	株式会社創建	氏 原 茂 将

---

傍聴者 3人

（午後6時30分開会）

◎**渡邊会長** お待たせいたしました。ただいまから、第2回小金井市長期計画審議会を開催します。本日は、南委員、後藤委員、住野委員から欠席の連絡が入っております。柳沢委員、中村委員は遅れるとの連絡をいただいております。

定足数につきましては、「小金井市長期計画審議会条例」第5条第2項に、半数以上で成立することと定められております。現時点で16人中11人の出席でございますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。

それでは、本日、前回欠席された吉田委員が出席しておりますので、御挨拶いただきたいと

思います。

◎**吉田委員** 小金井市青年会議所の吉田と申します。前回は急な葬儀と重なり、出席できずに申し訳ございませんでした。

小金井市へは結婚を機に引っ越してまいりまして、現在は子育てしながら市内で働いております。

これから長期計画審議会の委員として、よろしく申し上げます。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。それでは次に事務局より資料の御確認をお願いします。

◎**梅原企画政策課長** それでは、資料の確認をいたします。

資料一覧と、その下に資料が6点ございます。資料12として、「新たな計画策定に向けた意見書(写)」、資料13として、「第5次小金井市基本構想・前期基本計画の構成と検討の進め方(案)」、資料14として、「第5次小金井市基本構想(素案)」、資料15として、「将来像について」、資料16として「まちづくりの基本姿勢について」、資料17として、「意見シート(委員用)」、また日程調整用のA4の紙を1枚、各委員席に置かせていただいております。不足等ございましたら挙手をお願いいたします。

---

◎**渡邊会長** それでは、本題に入ります。次第1「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会からの意見書について」です。説明をお願いします。

◎**梅原企画政策課長** 資料1を御覧ください。

今回、皆さんに御検討いただく「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」の策定においては、「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との統合を予定しております。

「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは、今後、近い将来訪れる人口減少社会への対策のために「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成28年3月に策定された計画です。

「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第4次基本構想・後期基本計画との整合を図りながら策定しているため、内容については重複する部分が多くなりとなっております。

この計画については、当初は国の指示により個別計画として策定する必要がありましたが、改訂においては総合計画との統合が認められていることから、今回のタイミングでの統合を予定しております。

この度、その統合に当たり、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会において御検討いただき、意見書という形で御意見をいただいておりますので、今後の議論の際の参考にしていただきたいと思います。

◎**渡邊会長** 事務局からの説明がありました。

私は、この小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会の委員長もやっております。この意見書では、新しい計画の策定に向けて、委員の方々から出た様々な意見をまとめています。ここに挙げられているキーワードは、目指すべき小金井市のイメージとして、「自

然・環境」、「教育、学び、施策、障害を通じた学び」、「安全、安心」、「A I、I T」、「行政」、「活気、にぎわい、明るさ、いきいきしている」の6つのグループでまとめています。また、計画の策定に当たっての参考として、参加、協働、共生、連携、愛着、信頼などのキーワードと、その意味なども載せています。これらは本審議会の議論を拘束するものではなく、参考にしてもらいたいと思いますが、何か質問はありますか。

(「なし」の声あり)

◎渡邊会長 それでは、次第1を終了します。

---

◎渡邊会長 では、続いて、次第2「計画の構成と検討の進め方について」です。説明をお願いします。

◎梅原企画政策課長 A3サイズの資料13を御覧ください。

こちらは第5次基本構想と前期基本計画の大まかな構成と、それぞれの検討の進め方をお示ししたものです。

上段が構成、つまり実際に記載する内容を示しておりまして、下段がその検討の進め方の説明となっております。

まず、基本構想の構成について御説明いたします。

基本構想に記載する内容は、大きく6つ予定してございます。

左から順に「1基本構想の目的と役割」、「2基本構想の位置付け」、「3基本構想の背景」、この背景は更に3つに分かれておりまして「(1)現行計画の進捗」「(2)社会潮流」「(3)小金井市の現状」を記載いたします。ここまでの、基本構想の前半部分といえるかと思います。

その次に、実際に「どのように、どんなまちにしていくのか」を記載している、基本構想の中心ともいえる部分が4から6でございます。

小金井市の10年後の目指す姿を示す「4小金井市の将来像」、将来像の実現に向けた取組姿勢を示す「5まちづくりの基本姿勢」、そして、将来像実現に向けた6つの政策分野ごとの方向性として「6政策の取組方針」を記載したいと考えております。ここまでの基本構想の内容となります。

そして、ここまでの検討の進め方ですが、下段を御覧ください。

まず、1から5までは、本日この後の議題で素案や資料を説明させていただき、皆さまに御検討いただきます。そして、10月から11月に、改めてこの1から5について御検討いただき、素案をまとめていただきます。さらに、11月から12月頃には市民懇談会を開催しまして、広く市民の方々からも素案に対して御意見をいただき、再度修正を行いつつ、案をまとめていく流れです。

次に、6の政策の取組方針ですが、こちらは各政策分野に分かれた9月の起草委員会の場を中心に御検討いただきまして、その後10月から11月にかけて審議会でも検討を行い、素案をまとめていただきます。その後の流れは同様です。

最後に、資料の右側にございます、基本計画についてです。こちらは、基本構想に書かれた内容の実現に向けて、政策ごとに具体的に取るべき策、いわゆる「施策」を記載したものです。各施策について、ここに掲げる「目指す姿」、「現状」、「課題」、「取組の方向性」、「指標」を記載したいと考えております。こちらは、1月から2月に開催する起草委員会を中心に検討してまいります。

その後も検討スケジュールはございますが、現時点では基本構想を中心に、大きな流れを捉えていただきたいと思います。説明は以上です。

◎**渡邊会長** 事務局からの説明がありました。何か御意見はありますか。

◎**杉中委員** 資料の中で、長期計画審議会での検討と、起草委員会での検討と様々あるようですが、全体の手順といいますか、そういった流れはどうなっているのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** はい。皆さま、前回の資料9はお持ちでしょうか。こちらを御覧ください。今回は第2回の審議会になりまして、今後第3回、第4回の審議会、資料13の「6政策の取組方針」について、各政策ごとの概要を説明させていただき、下段にあります起草委員会にて、実際にどのような記載をしていくか、議論していただきます。第5回の審議会は予備日とさせていただいており、もし追加で議論が必要な場合は設定させていただきます。その後、10月以降に第6回、第7回で、起草委員会でお話いただいた御議論を共有し、基本構想の素案をつくり、11月から12月の市民懇談会で、広く市民の方へ御意見を伺っていく、という段取りとなります。

◎**渡邊会長** そのほか、質問ございませんか。

◎**浅野委員** 市民懇談会についてお伺いしたいのですが、確か前の計画の際には、市民討論会と呼ばれる市民参加を行ったかと思えます。その時は、青年会議所と組んで、参加者を無作為抽出で呼びかけていて、今回の市民懇談会もこういったことを行う予定はあるのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 市民討論会を行う予定はございません。

◎**浅野委員** 市民討論会というより、無作為抽出の呼びかけを行う予定はあるのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 市民懇談会では、無作為抽出を行う予定は現時点でございません。

◎**浅野委員** 分かりました。

◎**渡邊会長** 他の委員の方々はよろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

◎**渡邊会長** それでは、次第2を終了します。

---

◎**渡邊会長** では、続いて、次第3「基本構想（素案）について」です。事務局からの説明をお願いします。

◎**梅原企画政策課長** 資料14を御覧ください。第5次小金井市基本構想の素案となります。事前に委員の方へは本資料をメールしておりますが、事前にお送りした資料で1点誤りがありました。本日お配りしている資料は、修正済のものとなります。場所は、10頁、下の図の中

段「まちづくりの基本姿勢」の上から3つ目、「みらいにつなげる」とありますが、事前送付資料では「みんなにつなげる」となっていました。本日お配りしたものが正しいものとなりますので、御了承ください。

では、説明を始めます。まず最初にお伝えしますが、フォント、絵柄、色味など、デザイン的なところは仮のもので、現時点においては、フォントはこれの方がよい、色は何色が良い、というような議論ではなく、書かれている内容についての御議論をいただきますよう、お願いいたします。

それでは、1枚おめくりいただき目次を御覧ください。先ほどA3の資料13で御説明した1から6が、この目次の番号が対応しております。1から3は、市で事前に検討し、作成した素案を御提示し、御検討いただきます。4将来像、5基本姿勢については、次の議題でお話をさせていただきます。6は先ほど御説明したとおり、9月の起草委員会で御検討いただきますので、本日は割愛します。順に簡単に説明いたします。

1ページを御覧ください。今回御検討いただく基本構想・基本計画のうち、基本構想の目的などを書いたページとなります。2行目の一番後ろを読ませていただくと、「市民、団体及び事業者、そして行政である市を含む「私たち」とあるように、この計画は、市民など市内で活動する人たちと、行政である市全体を「私たち」と定義し、みんなで取り組む計画なんだ、ということを示しています。この考え方は現行の第4次の計画でも同じ考え方となります。また、4行目、「市民のしあわせの増進を図る」ことを、この基本構想の目的としています。一番後ろのページを併せて御覧ください。こちらは1ページを短く書いたパターンになります。長いものは、目的などが読めばよく分かる反面、字が多く細かい、一方で短いものは、読みやすい反面、内容がこれだけだとよく分からないと、良いところ悪いところあると思います。ここは皆さんの御意見を伺いたいと思っています。

戻りまして2ページを御覧ください。この基本構想は令和3年度から12年度までの10年間の計画であること、基本構想、基本計画、実施計画という3本の中の最上位計画であることを記載しています。

続いて3ページを御覧ください。基本構想の背景として、計画の前提条件となるような事項を記載しています。

(1)第4次基本構想・基本計画の振り返りですが、現行の基本構想では、「住みやすさ」と「住み続けたいと思う市民の割合」が増えることを、将来像の基本的な指標、と定めているため、その結果を載せています。めくって4ページは、現行の基本構想の施策の分野ごとの状況を簡単にまとめたものです。

5ページから6ページは前回お渡しした討議要綱にも載せている社会潮流、7ページから9ページは、そのような中での小金井市の概況をまとめたものとなります。10ページ以降は次の議題でお話させていただきます。

今、御説明した1ページから9ページまでについては、一般論や事実をまとめているところ

ですので、どちらかといいますと、本審議会では、ここよりも今後10年間の話に重点を置いて議論いただきたいと考えておりますので、市で原案を作成し、この内容について御検討いただく形としております。

今回御説明した内容について、御意見がもしあればいただき、10月から11月に、改めて御検討いただいて、確定していく段取りといたします。説明は以上です。

◎**渡邊会長** 事務局からの説明がありました。1ページの構成はどちらが良いかなど、御意見はありますか。

私は個人的には、1ページ目の記載について長い記述と短い記述を見てみると、それぞれ良い点があると思うんですけども、1ページ目の記述を読むとその背景とか良く分かるんですね。ですので、今の段階ではとりあえずこの1頁目の方にしておいて、これをもう少し簡単にさせていただくことも検討する、こういう形ではどうでしょうかね。

(「異議なし」の声あり)

◎**渡邊会長** ありがとうございます。あとは、第4次の取組状況について、読んでみると書き足りないところもありそうですかね。第5次の資料として、私なんかだともう少し足してもよいところがありそうな気がしています。皆さんは、何か御意見ありますか。

◎**浅野委員** 最初に確認したいのは、この「市民」の意味です。例えば、在勤者、在学者も、この市民に入るのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 入るように考えています。

◎**浅野委員** 市内でボランティアをする方とか、乗り換えで通る人とかも含まれますか。

◎**梅原企画政策課長** 含むものと考えています。

◎**浅野委員** 分かりました。その辺もしよろしければということなんですが、冊子の中に注釈を入れて示していただけるとすごくありがたいと思うんです。「私たち」という言葉については注がついているんですけど、その中の「市民」という言葉には特段の注がついていなかったもので、あるとありがたいかなと思いました。一応御検討いただければと思います。

◎**梅原企画政策課長** どのような形で表現するかということは、検討させていただきたいと思います。

◎**浅野委員** ありがとうございます。あと、もう1つ振り返りのところで、第4次基本構想をきちんとまだ勉強しきっていないところがあるので、これも本当に教えていただきたいということなんですが、第4次基本構想の期間内でいろいろな重要な条例や、何かが成立したと思うんですが、差別解消条例は随分大きな意味を持ってきたと思うんです。これは、振り返りの中でどこかに書き込む余地はないものなのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 確かに御指摘いただいておりますとおり、現在の文案の中にはお示しをさせていただいておりませんので、そういったことについても御意見いただき参考とさせていただいて、載せていくかどうかどうするかということについても、検討させていただきたいと思います。

◎浅野委員 重ねての確認なのですが、つまり、あえて第4次基本構想の策定の時点では差別解消条例のことはそもそも載っていなかったの、振り返りの際にそういう考慮をする必要はないという、そういうスタンスがあるという、そういうことですか。そういうふうに理解してよろしいのでしょうか。それとも、載せる余地はあるけれども、たまたま載っていないということなのでしょうか。

◎梅原企画政策課長 第4次の基本構想の期間の中でありました重要な出来事等については、載せる可能性というのはあると思っております。

◎浅野委員 分かりました。ありがとうございます。

◎渡邊会長 どうもありがとうございました。

ほかに何かございますか。よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

◎渡邊会長 では、今出た意見等も含めて、今後もう少しこのところも事務局のほうで考えていただくということにさせていただきたいと思えます。

これを含めた格好で、また10月から11月に事務局で調整案を出していただくということになると思えます。

基本構想(素案)については、以上でよろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

---

◎渡邊会長 そうしますと、次に小金井市の将来像についてということで、第4議題、資料の15。これは先ほどの資料14の後ろにも同じものが載っています。改めて、事務局のほうから説明していただきたいと思えます。

◎梅原企画政策課長 資料の15を御覧いただきたいと思えます。先ほどの資料13にありました4番の小金井市の将来像と同じものでございます。将来像とは、その実現に向けましてさまざまな取組を進めていくということで、10年後の小金井市の将来像のことでございます。この資料の2番にお示ししておりますけれども、これまでの基本構想に掲載をしておりました将来像については、第1次から第4次ということでこちらに掲載しているとおりでございます。

この将来像を検討していただく材料といたしまして、事前に実施しているものがございまして、説明させていただきます。この資料の3、検討に向けてというところになります。まず1つ目が(1)子ども懇談会でございます。将来像につきまして、小金井市立の5つの中学校で生徒に考えてもらい、各中学校ごとに合わせて12の案を発表していただきました。それぞれの提案理由についても、こちらに掲載をさせていただいております。

裏面を御覧いただきまして、(2)長期総合計画策定研究会でございます。こちらは市役所の若手職員の会議体で、先ほどの中学生に考えていただいた12の案について検討をし、順位をつけさせていただいております。上位3つの案と、その3つの案をより良くするためにこうしたらいいのではないかとということで、修正の案を作っております。

3 ページ目と 4 ページ目は、その 3 案につきまして基本構想の素案に掲載する場合のイメージ図として掲載をしております。説明の中身や図につきましては、あくまでイメージとなりますので、そのように御理解いただきたいと思います。

本日は、まずこの将来像について御意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎**渡邊会長** この将来像については、今後何回も議論をしていくと思うんですけども、初回ということで、今日はいろんな御意見を出していただければと思います。今後 10 年間にわたる取組を示すという意味では非常に重要な言葉といいますか、考え方だと思います。

事務局の方で、ここで議論するのもいいんですけども、少し小さいグループに分かれて議論したほうが忌たんのない意見を聴けるのではないかと計画されているみたいでございます。グループワークみたいな格好で、小グループで具体的には 3 グループくらいに分けていただいて、議論していただいて、その結果をここでまた報告していただくと、こんなやり方をとりたいというふうに希望しております、いいんじゃないかなと私も思いますので、事務局のほうでやり方等の説明をお願いします。

◎**梅原企画政策課長** それでは、将来像につきましては、簡単なグループワークの形で御意見をいただければと思います。

グループは 3 つに分けて進めさせていただきたいと思います。事務局のほうで割り振りをさせていただきまして、グループにつきましては、まず 1 つ目のグループが上原委員から、4 人、中村委員、森委員、高野委員まで、これが 1 つ目のグループということです。それから、2 つ目は竹之内委員から、松嶋委員、浅野委員、吉田委員までの 4 人の方が 2 つ目のグループ。それから、もう 1 つのグループは渡邊会長と、柳沢委員、柴田委員、石塚委員、杉中委員、この 5 名の委員でお願いしたいと思います。また、各グループの中で急な御指名で申し訳ありませんけれども、進行役といいますか、リーダー役といいますか、まず上原委員と、それから竹之内委員、それから渡邊会長に各グループのリーダーということでお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

流れといたしましては、将来像に入れていく言葉について最初に考えていただき、その後で先ほど説明いたしました、中学生に考えていただいた 1 2 案、これらについても意見を出していただくというふうをお願いをしたいと思っております。

それでは、まずグループに分かれていただきたいと思いますので、事務局が御案内させていただきます。

(席移動)

◎**梅原企画政策課長** 進行について説明させていただきますので、よろしくお願い致します。

それでは、一番最初に短時間ですけれども個人個人での作業のほうをお願いしたいと思います。まず最初はお一人お一人で将来像に入れていきたいキーワードを、この言葉は絶対入れたほうがいいというような、例えば、みどりとか、笑顔とか、そういった言葉について考えてい

ただきたいと思います。お一人最低3つずつは考えていただきたいと思います。視点といたしましては、全ての市民にとっての将来像であること、また、今後10年間の計画の将来像であることなどについて、そういった視点で考えていただければと思います。

そして大体皆さんが考えついたところで、考えていただいた言葉をグループの皆さんで共有をしていただきたいと思います。共有する際には、お手数ですがけれども、どなたかお一人お手元のシートに御記入いただいて、メモをとっていただきたいと思います。

まず各自で考えていただいて、それを共有していただくというところで大体10分ぐらいでお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(グループワーク)

◎梅原企画政策課長 大体出そろったようですので、進めさせていただきたいと思います。

それではグループごとに選ばれた3つのキーワードと、それからその理由について簡単に発表していただければと思います。では、こちらからよろしいですか。

◎上原委員 第1グループは、ちょっと前半で考えたことをまとめてお話ししますが、令和3年からの方針だと思うので、ここ数年で大きく小金井市は変わると思うんです。来年には南口の再開発が終わって、人口が増えて、人の流れが南口に多くなるでしょう。新福祉会館ができて、新庁舎もできて、人の流れが大きく変わる、そういう非常に過渡期な時期を迎えるということ踏まえて、これまでのキャッチフレーズと大きく変えてもいいんじゃないかなというふうに思いまして、まず1つ目の言葉が「桜」と入れていいんじゃないかと、これは小金井らしさを具体的にばんと出すという意味合いでこれを選んでみました。

2つ目が「夢、希望」。夢とか希望、将来へのポジティブなイメージ、これから変わろうとしていく小金井市にふさわしい言葉なんじゃないかなというところで、「夢と希望」という言葉を選びました。

そして3つ目が「つながり、わかちあい」。これは文字どおり人々の連携を図っていくということですが、継続してそういうつながりを持っていきましょうというところで、「つながり」、「わかちあい」という言葉を選ばせていただきました。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それでは続いてお願いたします。

◎渡邊会長 3つのキーワードの前に、今までの将来像というのを言いますと、第1期が「緑ゆたかないいきとした 文化都市こがねい」ということで、文字数でいくと7・7・9なんですね。7文字7文字9文字。第2次もほぼ同じ。第3次が、「元気です 萌えるみどりの小金井市」となって、5・7・5になっているんですね。実はこれ、「元気です小金井市」という、星野哲郎さんが作ったコピーワードをもらって、その真ん中に萌えるみどりって入れて、元気です萌えるみどりの小金井市。5・7・5にするとすごく覚えやすいのでというのがあります。第4次は、「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」と。これは7・7・7・5で、僕はここに関わったんですけど、あまり覚えられなかったということがあって、5・7・5・7・7とか、いわゆる俳句とか短歌調、和歌調のものが覚えやすいねという意見

が出ました。

キーワードですけれども、皆さんの意見の中で萌えみどりみたいな、萌えるみどりというのは、要するに若葉の色であると、自然を表わすとともに、小金井市が若々しくこれから伸びるという意味で、非常に魅力的な言葉ですけれども、このところずっと緑が続いているから、この辺で桜に変えてみるかという話がありまして、「桜」というのが第1キーワード。やっぱりこれは、小金井というと桜だということですね。

それから第2キーワードは中学生の諸君が使っている「笑顔」。第2か第3、ちょっとあれですけど、「絆」。絆と笑顔というのは、絆があって人間と人間の心が触れ合ってハッピーになると、幸福になると。その結果として笑顔が出ると。順番としては絆があって笑顔かなと。逆に笑顔があって絆が強まるというのものもあるわけですよ。でも、何か本当は心の中じゃ笑顔を作りたくないんだけど、作り笑顔をしているというのもちょっとそれは良くないねということで、やっぱり絆があって笑顔がある。本当の笑顔があって絆が更に深まっていく。絆が深まることで更に笑顔が輝くという、循環系になるかなということで、スタートポイントとしては絆みたいなのがあって、結果として笑顔になると。だから、桜、笑顔、絆みたいな。それでまさに手前みそですけれども、将来像として5・7・5がいいんじゃないかということです。いろいろあったんですけども、桜を使うとすると、「桜咲き絆と笑顔小金井市」と、5・7・5ですね。

この後は進め方に関わる言葉で7・7とつけて、知恵を集めて未来を開くと。「桜咲き絆と笑顔小金井市知恵を集めて未来を開く」と、いわば俳句の部分は将来像を表わしていると。最後の知恵を集めて未来を開くというのは、やり方ということで、こういう和歌調の。和歌として使ってもいいし、上の部分だけを使ってもいいし、下の部分だけを別に使ってもいいかなというような、そんな意見が出ました。大分アドリブをつけましたけど。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それではお願いします。

◎竹之内職務代理 こういうのは一番最後というのは苦しいんですけど。やっぱり、小金井市はどういう市だというイメージを考えると、今言ったように、「みどり」が多いということとか、目指すものとしてはネットワークという、「きずな」というキーワード。そうすると大体僕は例えば桜とか、みどりとかというキーワードは何かしらの形で反映されていて、我々も出しているわけですね。

ただ、もう1つ意外と思っているわりには使われていないキーワードは「安心」とか「安全」とか。例えば、食にしても、住環境にしても、安心して暮らせるということはとても大切で、それはどうしてかという、これだけ高齢化社会になって人生100歳といったら安心して働いてもらわないと小金井市も苦しいですよ。皆さんその辺で御高齢の方々が井戸端会議されても困るので。そうすると、そういうキーワードがあってもいいのかなというのが1つありました。

それと関連して、僕は4つ目のことを言ってしまったのですが、総活躍と今、国も言ってい

ますよね。だから、「活躍」というキーワードが実はあってもいいのではないかなと。ですから、先ほど上原委員ががらっとということを書いていましたけど、僕もがらっとというのは「みどり」をやめましょうとか、もう小金井市から「みどり」は外せない、小金井市と言ったら何が外せないといったときに、どこかでいつか外さなきゃいけないものという感じがあつてですね。それだったら少し抽象的にはなりますが、そういったものをトータライズして、食も安全だし、住環境も安全だし、子育ても実は安全でなきゃいけないんですよ。ですからそういうふうな、今4つ言っちゃって恐縮なんですけど、「みどり」とか「きずな」、「きずな」はいい言葉だと思いますけれども、そうなってくると、安心・安全を1つだとしていただければ、あとは活躍というキーワードが盛り込まれてもいいのではないかというのが、このグループの意見です。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。

それでは、グループワークを続けさせていただきたいと思います。次に先ほど説明をさせていただきました、中学生の方々に考えていただいた12の案、こちらについて少し御意見を言っていただきたいと思います。各グループでどの案がよいか、この案はこう変えればよくなるというようなことについて話し合いをいただき、御意見いただきたいと思います。

5分間ぐらいでお話し合いいただければと思います。

(グループワーク)

◎梅原企画政策課長 では、途中のところもあるかもしれませんが、大体これぐらいにいただきまして、また各グループから簡単に話し合っていた内容について発表をしていただきたいと思います。

それでは、今回は反対側のこちらのグループからお願いいたします。

◎竹之内職務代理 子ども懇談会の案ですけれども、やっぱり1つの強いキーワードが夢のある町という表現というふうに捉えますと、おのずから結果は②番ということになっていきました。やっぱり子どもたちは一人一人多分自分の住んでいる町にこういう町であってほしいというのが多分あって、例えばデパートがあったら買い物が楽なのになとか、映画館があったら東京まで映画を観に行かなくてもいいのになと、千差万別の夢があって、だから夢を持てますということはやっぱりあってもいいのかなというので、②番がいいんだろうというふうに考えました。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それではお願いします。

◎渡邊会長 代行を任命してよろしゅうございますか。柳沢委員お願いします。

◎柳沢委員 第2グループの意見としては、まずこの中で一番人気だったのはやはり若手職員の方の投票結果と同じく、⑦がいいという話が一番多かったですね。やはり緑も入っている、笑顔も入っている、絆も入っている。我々が先ほど上げたキーワードが全部入っているの、これがいいという話がありました。

ただ、ほかにあったのは①の小金井の桜、東京の湧水、日本のとき。これは全部小金井なら

ではのキーワードが入っているので、これはキャッチフレーズとしてはちょっと将来像とかは見えづらいのですが、別に生かせる場があればよいなとかいう話もありました。

そのほかにも⑦と⑩がいい、多文化共生や多種多様というそういう社会を反映しているのいいという話もありました。

あと、④が子どもらしくてよいという意見がありました。育つ子どもは桜とともに未来へ羽ばたく小金井市、子どもらしさが出ていて非常にいいじゃないかという話がありました。

あとは、1つだけ述べさせていただきますと、⑨と⑫、こちらがいいという案もありまして、これについては桜咲く笑顔あふれる小金井市とすれば5・7・5にもなるので、よいのではという御意見もいただきました。

ちょっとまとまりがなくなりましたが、以上になります。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。最後をお願いいたします。

◎上原委員 第1班は、少々辛口でございます。まず、⑩番、ゆりかごから墓場までこれは何か聞いた言葉じゃないかと、文章で書いてある内容はとてもいいんですけど、このゆりかごから墓場までという言葉は一般的に使われている言葉なので、オリジナリティがないということであまりよくないんじゃないかなというところですよ。

それから、若手職員の会議体で上位3案の第1位に輝いている⑦番ですね。多いぞ緑増えるぞ笑顔創ろう絆小金井市。これは第1班の評価では下品だと。何で下品かなと思ったところ、濁音が続いてくるので、ぞが下品だな。戦国時代じゃないし、もうちょっとやわらかい語感のほうがいいんじゃないかということで、大批判を受けております。

それから、③番。多種多様な人がつながる町ということで、ダイバーシティ、非常に今の時勢を表現する言葉ではあるんですけど、ちょっと表現がぶっきらぼうかな。もうちょっとほかの言葉とつなげてもいいんじゃないかなというような評価が出ております。

以上、3つ非常にディスるような話ばかりしても、この中で堂々の第1位が①ですね。小金井の桜、東京の湧き水、日本のとき。これは4人とも大絶賛で、どんどんスケールが上がっていくんですね。小金井、東京、日本と。そのどれも小金井の特徴を捉えていて、これを考えた中学生は天才なんじゃないかというような評価に至りました。

ということで、第1班は①番推しということでよろしく申し上げます。ありがとうございます。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それでは、進行のほうを一旦会長にお返しさせていただきます。

◎渡邊会長 皆さんお疲れさまでした。今、グループごとに出てきたキーワード、そして12の中学生の案、御意見を出していただきました。

このそれぞれのグループに対して何か御意見があれば伺いたいんですけど、何かございませんか。どこかのグループに対してどうかこうとか。ありませんか。

私、1つあるんですけども、安全という言葉、重要なんですけど、安全というのは音読み

ですよね。訓読みというんですか、同じ大和言葉で言うと、安らぎかなと実は思っていて、安全という言葉と、大和言葉は大分違いがあるんですね、そこに。安心・安全という言葉も聞きなれているから、何か大和言葉的な表現があるともう少しおもしろいかなって実はちょっと感じたという勝手な意見でございます。

すみません、私がこんなにしゃべって。ほかに何かございませんか。

上原さん、何かございませんか。

◎上原委員 先ほどのキーワードのほう、第2班の完成度は高いなと思って非常にすごいなと思って聞いておったんですけれども、5・7・5とかで決めていくというのは多分すごく市民の人たちも覚えやすいと思うので、今回はワードだけ出しているだけだと思うんですけど、それをつなげていくときに、そういう日本人がもともと持っている感覚と言うんですかね、5・7・5みたいなふうに並べていくのがよいんじゃないかなと感じました。個人的な感想ですけど。

◎渡邊会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

◎浅野委員 桜もなかなかいいなと思ったんですけれども、我が班はやはり緑推しの方が多くて桜、緑、どちらにしても10年間を視野に入れてこれから先進むべき方向を考えさせるためのキャッチコピーという、そういうことですよね。なので、その前、例えば緑に関して言うとどういう指標があるのか、後でデータブックを見てみようと思うんですが、緑化率、生産緑地の比率、そういったものが過去10年間でどう推移してきたのかということを見た上で、また例えば地産地消がどういう形で実行されてきたのか、それは実を上げているのかといったようなことを踏まえてこれから先どうしていきたいかという形で、考えていけたらいいなと思います。桜についてもそうだろうと思います。

その点で言うところちょっとこの班でもキーワードにならなかったんですが、私、教育委員としてここにいますので少し言いづらいところもあるんですが、子どもの数が急激に増えます。これから5年間でおおよそ800人増えると見込まれていて、小学校が1校建つぐらいの人数が増えるんですね。つまり、このことは市の全体に非常に大きな影響を与えていくことになると思います。

例えば、今のままの校舎で本当にこれから10年20年やっていけるのかとか、校舎をどうするのか、そしてその管理をどういうふうにやっていくのか。そしてそれは単独で校舎として建つのか、いろいろ大きな波及効果をもたらすんですね。なので、私の個人的な考えになっちゃうんですけど、第4次のキャッチフレーズがすごくよくできているなと思ったわけですね。ここまでの10年間もそうでしたけど、これからの10年間も非常に大きな市のあり方を左右するファクターになるなと思います。一応、緑のことと、子どものことを申し上げました。

◎渡邊会長 浅野先生、どうもありがとうございます。ほかにございますか。

これからまたこういう議論を続けていって、もっといい10年後の像を作っていくという初回として皆さんからいい意見がいろいろ出たと思います。

次の議題、よろしいですか。それでは、休憩を入れますか。

◎梅原企画政策課長 皆さん、休憩が必要でしたら入れていただいて結構ですし、そのままでもよければ、どちらでも。

◎渡邊会長 このままでいきましょう。いいですか。

(「はい」の声あり)

---

◎渡邊会長 次に、まちづくりの基本姿勢についてということで資料の16ですね、この説明を事務局からお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 それでは資料16を御覧いただきたいと思います。まちづくりの基本姿勢についてでございます。まちづくりの基本姿勢とは、先ほど検討していただきました将来像を実現するため、基本構想の取組を進めるに当たっての基本的な姿勢を表したものでございます。

ここでいう「まちづくり」とは、いわゆるハードだけではなく、小金井市というまちを作っていくというソフト面も含んだ大きな意味での「まちづくり」という意味で使っております。

資料にあります2につきましては、過去これまでの基本構想での基本姿勢を記載させていただいております。また、資料の3につきましては、市のほうで作成しております第5次基本構想でのたたき台でございます。若手職員が集まった会議体であります「研究会」にて検討し取りまとめた案を提示させていただいております。

討議要綱にもありますように、視覚的な読みやすさということについても意識して作成をさせていただいております。1つ目はみんながしあわせになるまちづくりです。こちらは第1次から第4次までにあります、市民生活優先のまちづくりと同様、市民一人一人の生活のために進めていくという姿勢を表す趣旨となっております。

2つ目はみんなで進めるまちづくりです。こちらも第4次の参加と協働、こちらと同様の趣旨となっております。

3つ目はみらいにつなげるまちづくりでございます。こちらは第5次基本構想の策定に当たりまして、新しく考えております基本姿勢になります。人口減少、少子高齢化などを踏まえ、今だけでなく次の世代につなげていくということを見据えたまちづくりを進めていくという姿勢を表したものでございます。

これらの案につきまして、現時点で御意見をいただき、10月から11月にかけてまして確定をさせていただきたいと考えております。こちらについても先ほどと同じようにグループで意見を出し合っただけであればと思います。大体5分ぐらいでお願いできればと思います。

それではお願いいたします。

(グループワーク)

◎梅原企画政策課長 それでは、また各グループから簡単に発表のほうをお願いしたいと思います。では最初にこちらからお願いいたします。

◎渡邊会長 では発表いたします。また発表者を指名させていただきます。

◎柳沢委員 このまちづくりの基本姿勢、3つのキーワードについて、うちの班では基本的には全部これでいいのではないかという話になりました。

まず最初の、みんながしあわせなまちづくり。これについて、しあわせというのは大前提であるので、これはこのままでいいでしょう。ただ、しあわせというものはお金であったり、健康であったり、排除されないような社会だったり、人によって考えが違うということなので、今後これについては議論を深めていく必要があるかなという話は出ました。

また、併せてこれの改善というか、こうしたらいいんじゃないかという意見で、みんながでなくて、みんなでしあわせになるまちづくりということで、みんなで行ってこうという形を出していったらどうかという案が出ました。

2個目、みんなが進めるまちづくりについては、これは先ほど先生が考えていただいた、和歌というか、5・7・5・7・7ということになりました。知恵を集めてこれから税収が減ったりとか、お金がなくなったりという中で、最後は知恵だという話がありまして、知恵を集めてみんなが進めるまちづくり、という意味で我々の意見が一致しているかなという話になりました。

最後はみらいにつなげるまちづくり、こちらの資料にもありますとおり、持続可能、その場限りではなくて持続可能というのが大事なキーワードなので、未来につなげてずっとやっていくまちづくりなんだよということが表されているので、これでいいのではないかという話になりました。以上です。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それでは続いてお願いいたします。

◎竹之内職務代理 今の御発言に基本的に賛同させていただきたいということなんですが、ただ、細かいことを言いますと、みんな平仮名なのに何で真ん中の「進める」だけ漢字なんだというのはちょっとありまして、それだったらそろえたほうがいいんじゃないかというのがありました。結構鋭い指摘だと逆に思うんですけど。

それから、あとは僕の意見っぽくなりますけど、僕も結構辛口派なので、こんなものでしょうというのが僕の意見で、ただ、今のキーワードとさっきのサステイナブルだとか、SDGsだとかというのは盛り込まなきゃいけないでしょうというのがいろんな審議会でのスタンスなんです。

それからダイバーシティも入れなきゃいけないでしょうというのがスタンスなんです。そうすると、そういうものからこういうものを作っていくのがいいことなのか、それとももっと大上段のところから根本的な精神みたいなものを言ったほうがいいのか、ちょっとそれが僕は疑問なところなんです。あくまで僕の意見です。

それから、もう1つどこかに入るのかもしれないんですけども、やっぱりまちづくりをするときはもう皆様方御経験があると思うんですけども、いろんなセクショナルリズムがあってもなかなか物事がうまくいかない。したがって、総合的にネットワークのあるまちづくりといいですか、

そういうふうなものがあったら4本柱でいくのなら、そういうものを入れてもいいのではないかなという意見でございました。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。それでは、最後をお願いいたします。

◎森委員 上原委員に代わりました森です。基本的に1班もこの3つの基本姿勢についてはいいのではないかなという話になったんですけれども、みんながしあわせになるまちづくりについて、その内容にある市民の生活を守り、安定発展させることを最優先にしたまちづくりという意味の、この安定の内容、安定とは何かなというところでちょっと疑問に思うという意見がありました。

あと、「しあわせ」の定義に関しては、議論がもっと深まってしまうかもしれないんですけれども、市のほうで定義する「しあわせ」ってどのような状態なのかなということを知りたいという意見がありましたので、教えていただければなと思います。その市が定義する「しあわせ」である状態を、この文言のほうに明記して入っていればよりいいのかなという意見が出ました。

次のみんなで進めるまちづくりに関しては、先ほど第3班のほうで意見が出たとおり、私たちも「進める」が平仮名のほうがいいのではないかなという意見がありました。

次のみらいにつなげるまちづくりに関しては、これでいいのではないかなという意見です。

◎梅原企画政策課長 ありがとうございます。「しあわせ」ということについて、御質問いただきました。ここで言います「しあわせ」というのは、それぞれの方によってしあわせは違うと思います。ここでは、個人個人の考えるしあわせ、ということになるかと思えますけれども、そういったことも含めまして、今後も議論を深めていければよろしいかなと思います。

◎竹之内職務代理 ちょっとそれは難しいと僕は思います。つまり、一人一人違うのであれば、それは一人一人全部考えていかなきゃいけなくなって、それを全部反映させる、集約するキーワードはきっとないと僕は思っています。なぜかという、そんなことばかりいろんなところでやらされていて、法律学者は概念だとか定義だとか必ずしろって言われますから一生懸命考えますが、これだけ「しあわせ」みたいな抽象的概念は1つに集約するのはまずできないですから、絶対これは「しあわせ」というキーワードをそのまま使うしかないと思います。

何かしら枕詞を乗っけるというのは、かえって意味を限定しておかしくなると思っていますので、そういうことにあまり力を注がずに、これは僕の意見ですが、もっとほかのところに力を注いでいただきたいと思います。それからダイバーシティというキーワードがある以上、個人個人の多様性を尊重するのであれば、しあわせの多様性も当然尊重されるわけです。だからわざわざ言わなくたっていいんじゃないかなという意見、僕の私的な意見ですが。

◎渡邊会長 竹之内先生ありがとうございます。私もそう思います。しあわせってみんな個々別々でいいかな。「しあわせ」と言ったとき、自分のしあわせでいいかと。市が「しあわせ」を定義しちゃうとまずいかなという気がしますね。

◎梅原企画政策課長 たくさんの意見をいただきましてありがとうございます。

本日のグループワークは以上となりますので、最初のお席のほうにお戻りいただきたいと思  
います。

(席移動)

◎**渡邊会長** 今回のグループワークでいろいろな御意見をいただきました。どうもありがとうございます。改めてここでそれぞれのグループに対して何か御質問とか御意見があればこの場で伺っておきたいんですけども、ございますでしょうか。

◎**竹之内職務代理** 質問はないんですけど、今回こういう形で早い段階でそれぞれの皆さん方のお考えとかスタンスとか知れたことは非常にいいことだったのではないかと思いますので、会長と事務局にお礼申し上げます。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。事務局、ほめられていますよ。

それでは、今出されたいろんな意見を踏まえて、事務局のほうで10月から11月までの間、資料としてまとめて、再度きちんとした議論をさせていただきたい、そんなふうに思っております。

---

◎**渡邊会長** それでは、今日用意していただきました議題の6番目ですね。次回以降の開催日についてということで、事務局のほうから説明をお願いいたします。

◎**梅原企画政策課長** それでは次回以降の日程でございます。委員の皆様のお都合をお伺いさせていただきますまして、参加者の多い日程を調整させていただきました。

次回第3回は8月7日水曜日、第4回につきましては8月21日水曜日に開催させていただきますと思います。

なお、開催時間につきまして、午後7時からの開催を希望する御意見も頂戴しておりまして、事務局といたしましては現在の6時半から遅らせる場合には午後7時からという、この間で開始時間を設定させていただきたいと考えております。

特に開始時間のところについて御協議いただければと思います。

◎**渡邊会長** 開始時間ですけど、6時半から今までやっていたんですけども、今日もお仕事で何人か遅れるということもあったりして、皆さんが出席しやすい時間である7時からということではいかがかと思うんですけども、ちょっと終わりのほうが遅くなっちゃうという問題があるんですけども、そこは効率のよい議論をしてなるべく早めに終わるということで7時からということでは会長として提案させていただきたいんですけどもいかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

◎**渡邊会長** では、第3回の8月7日水曜日午後7時から、第4回は8月21日水曜日午後7時から開催と決めたいと思います。

そのほかの開催日程については、事務局から説明をしていただければと思います。

◎**梅原企画政策課長** 第5回の審議会につきましては予備日とさせていただいておりますので、

開催するかどうかということにつきましては現時点では未定ではございますが、前もって調整のほうはさせていただきたいと思っております。本日の会議終了後に皆様から御都合をお伺いしまして、事務局にて調整させていただきたいと思っております。

なお、欠席される委員の方に、会議前もしくは会議の後に会議資料とともに資料17にございます意見シートと会議資料をお送りしまして、御意見がありましたら提出をお願いしたいと考えております。提出された意見シートにつきましては、次に開催される審議会で資料として提出させていただきたいと考えております。この点の取扱いについて御協議をお願いいたします。

◎**渡邊会長** 第5回目の日程は事務局で日程調整をお願いするということをお願いしたいと思っております。

それから、欠席委員からの意見表明で、意見シート、こういうのをやりたいという事務局の御提案ですけれども、これはいかがでしょうか。何も言わないよりは、意見があるんだったら欠席の場合にはシートを出す権利がある。いいかと思うんですけれども、それでよろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

◎**渡邊会長** 事務局からの説明したとおり、取扱いをさせていただきたいと思っております。

最後、その他が残りました。何か事務局のほうで連絡事項等ございますでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 事務局からの連絡事項は特段ございません。

◎**浅野委員** よろしいでしょうか。前回配付資料の中に市民意向調査報告書が含まれておりまして、大変詳細な分析がなされており、私もしっかり勉強させていただこうと思っております。

それに加えて、審議会及び基礎委員会の中で議論する際に、その議論に資するようなもう少し個別的な分析ができるといいかなと考えておりまして、もし可能であればということなのですが、市民意向調査のローデータを利用させていただけないかなということをここでお願い申し上げます。御検討いただければ幸いです。

◎**渡邊会長** 今までこういう扱いはどうなっているのでしょうか。

◎**梅原企画政策課長** 浅野先生のほうから今、御提案いただきまして、長期計画審議会の審議に活用いただけるということでございますので、特段問題ないかというふうに考えております。

◎**浅野委員** ありがとうございます。

◎**渡邊会長** それでは、浅野先生の分析をしていただき、大いに生かさせていただきたいと思っております。

今日、議論すべき項目は全て終了いたしました。長い時間どうもありがとうございました。

(午後8時32分閉会)